

## 着地型観光に関する研究～高知県土佐町の事例から～

1250468 高岡 恵太

指導教員 土屋 哲

### 研究背景

現在、観光業において、既存の「発地型観光」とは考え方を対にする「着地型観光」が注目されている。高知県土佐町では、体験型プログラムを中心とする着地型観光の実践に取り組み始めてから 7 年目に入り、着実に成果をあげるとともに、地域ブランドを高め、交流人口の増加のみならず、移住者を増やすことを目標に掲げている。

### 研究目的

本研究では、はじめに高知県土佐町の着地型観光による成功事例を分析し、汎用性のある取り組みに焦点を当てて成功の要因を明らかにする。次いで、着地型観光を持続可能な形で発展させるための課題を明確化し、地域観光振興の具体的なモデルの提示を目指す。

### 研究方法

まず、観光資料の収集・分析やキーパーソンへのヒアリング調査を通して、土佐町における着地型観光の経緯を把握し、取り組みの特徴を整理した。次に、参加した観光客や受け入れた住民の声を資料やヒアリング調査から把握し、内発的発展論の考え方をを用いて分析を行った。

### 分析結果

土佐町は着地型観光導入前、観光地としての認知度が低く、住民の観光資源の活用に対する意識も薄かった。しかし、キーパーソンである S 氏の熱意あふれる取り組みにより、地域特有の自然資源を活かした体験型プログラムツアーが考案・提供され、観光客に土佐町の魅力を深く体験してもらうことに成功した。このように、S 氏という重要な人的資源による行動の結果として地域の内発性の向上が見られたことが、土佐町の着地型観光における成功要因となった。

### 考察・結論

土佐町は着地型観光により、自然環境や農業、地域文化を活かした観光商品をつくりだし、経済効果を生んでいる。また、住民の意識も変わり、観光に積極的な人が増えた。このように、工夫された観光資源の活用や、自然、文化、食などの観光資源と住民をはじめとするキーマンとなる「人」との組み合わせによって地域観光資源を磨き上げることにより、持続的な観光産業の発展につながると考える。